

県学校教育の重点

地域とともに歩む特色ある学校づくり

- 重**・全校体制で取り組む学力向上
- 点**・豊かな人間性と社会性を育む教育の推進
- 事**・たくましく生きるための体力向上
- 項**・全校体制で取り組む特別支援教育の充実

人にやさしく

ジオにやさしく

# みんな笑顔になろう

わたしたちの合い言葉

糸魚川市の期待する子ども像 **ふるさとに学び、たくましく生きる子ども**

糸魚川市子ども教育の目標  
○自然・人・社会に進んでかわり、学び合い、夢に向かってチャレンジする子どもの育成

糸魚川市子ども一貫教育方針、基本計画に基づく実践の推進

○ひとみかがやく 日本一の子ども **※下記下線部分が関連項目**

<b>重点目標</b>	○基礎基本を身に付け、課題解決する子 ○考えをもって、進んで伝え合う子	○差別や偏見を許さず、互いに認め合う子 ○よりよい人間関係をつくり、自己有用感を高める子	○進んで体力づくりに取り組む子 ○望ましい食生活のできる子	
<b>目指す成果</b>	○国語・算数の単元テストの平均点が、A以上30%、B以上70%。 (A:80点~100点 B:60点~79点 C:59点以下) ○NRT学力検査でアンダーアチーバーがゼロ。 【児童、保護者アンケート】 ○言語活動を取り入れた重点単元の実施を各学期に1回以上(教師) ○「考えを進んで書いたり、伝えたりした」児童が75%以上 ○「授業が分かる」と評価する児童が、80%以上 ○家庭学習(10分×学年+α)達成率85%以上(保護者) ■全ての学級担任が自己の課題に基づき「書く力、伝え合う力」を高める授業改善を実現する。	【児童、保護者アンケート】 ○「学校が楽しい」と感じる児童が80%以上 ○友達への温かい言葉がけをすることができる児童が75%以上 ○「進んであいさつしている」児童が80%以上 ○我が子は「進んであいさつしている」が75%以上 ■全ての学級担任が自己の課題に基づき「人権感覚」を高める授業改善を実現する。	○一人ひとりの課題とする体力が、体力テスト(春、秋)で前回の記録を1点(項目別得点表による)以上上回る児童が80%以上 【児童、保護者アンケート】 ○バランスのよい朝食を摂取した児童が75%以上 ■家庭と連携した食教育に向けた取組を年3回以上実施する。	
<b>重点活動</b>	1 学ぶ意欲を高め、「分かる」「できた」喜びが実感できる授業づくり (1) 実態把握に基づく授業改善(個の学びの連続) (2) 全校体制で取り組む基礎基本の確実な習得 (3) Web配信テスト補充問題の確実な実施 (4) 活用力を高める「言葉の力テスト」「算数テスト」の実施 2 思考力・表現力を育てる「書く」「伝える」活動の工夫 (1) 「書く」ことを通して理解を深め、「分かりやすく伝える」力を高める授業の工夫 (2) 相手意識・方法意識・目的意識を明確にした表現・発信する活動の工夫 (3) 伝える必要感のある機会や場の工夫(発表朝会・児童活動等) 3 学校と家庭が連携した学習環境づくり (1) 家庭学習(10分×学年+α)の習慣化	1 差別の本質を貫いた同和学習の蓄積と深化 (1) 一人ひとりが大切にされる学級づくり (2) 教科・道徳・総合・特別活動との関連を図った「いそべプラン」による年間11時間の同和学習の充実と学びの発信 (3) 人権強調旬間(6・10月)の設定及び人権教育強調週間(12月)における同和学習や教育活動の実施 2 かかわりを深めるソーシャルスキル エデュケーションの実現 (1) 社会性を高めるソーシャルスキルトレーニングの実施 (2) 縦割り班活動等行事と関連付けた「にこにこの森」月間の充実 (3) 学校・地域での活動や行事など、あいさつの場の設定と指導 3 家庭・地域との結びつきを強めた連携 (1) 全保護者対象の人権教育、同和教育講演会・懇談会の実施 (2) 地域ぐるみのあいさつ運動の展開 (3) 地域を学び、地域で育つ活動や学習の工夫 (地引網体験、海岸清掃、磯部地域にスポットを当てたふるさと学習)	1 課題(柔軟性)解決に取り組む体育授業の改善 (1) 体育授業の工夫 ※上記課題は24年秋からのもの ・課題となる体力要素の運動を導入時等に毎回実施 (2) 児童一人ひとりの課題及び伸ばす体力要素の明確化と取組方法の工夫(カード等) 2 運動意欲を喚起する全校運動遊びの工夫 (1) バランスのとれた運動・遊びを工夫した「もりもりロング」の実施 3 健康のために食に関心をもたせる手立ての工夫 (1) 栄養職員・学級担任・養護教諭が連携した食指導の工夫 (2) 能生地域学校保健委員会と連携した食育の取組 (3) 互いに取組を学び合う食育講演会の開催 (4) 栄養バランスのとれた弁当のための学年に応じた取組	
<b>連携</b>	《保護者・PTA連携》 ○糸魚川市子ども一貫教育方針に基づき ・あいさつ運動の推進 ・学年に見合った家庭学習の時間確保 ・親子食育講演会 ○親子同和学習(6月) ○登下校の安全確保	《地域との連携》 ○共に学ぶ機会の確保(同和学習、特別支援教育、授業参観) ○あいさつ運動、交通安全運動 ○学校支援地域本部事業での人財活用	《校種間連携 ○保小連携 □小中連携》 ○共に学ぶ機会の確保(同和学習、特別支援教育、授業参観や保育参観の機会充実) □授業公開を通じた学力向上。地域ぐるみの生活習慣改善(能生地域中学校区学校保健委員会)	《大学との連携》 ○上越教育大学教職大学院「学校支援プロジェクト」への協力による学力向上 ○教育実習を通じた指導方法の向上

